

懇親会では 尽きぬ回顧談

総会に引き続いて、懇親会が「二階」安土の間で開かれました。

打明消防局長を始め、現職の賛助会員も多数の出席をいただき、田村副会長の司会で消防局幹部の紹介が行われま

そして支部の一部役員の交代が報告されました。詳細については別表（二面掲載）をご覧ください。

総会に先立ち、出席者全員で物故会員の御霊へ黙祷が捧げられました。岡会長から開会の挨拶があつたあと、松浦副会長の司会で、議案審議に入りました。この日審議された平成 27 年度事業計画等すべての議案は、異議なく全会一致で承認されました。

全会一致で議案承認

今年度の総会は、大阪都構想の住民投票も終わり、これからの大阪の市政改革に向けた取組みが進められるなか、4 月 16 日に行われた役員会や 5 月 15 日に開かれた理事会の後をうけ、6 月 19 日（金）午後 5 時半から、中央区の「グイアーレ大阪」で、多数の会員の出席をいただき開催されました。

平成二十七年 清風会総会開催



大阪消防清風会報
(第 54 号)

発行

大阪消防清風会
大阪府西区江戸堀 1 丁目 24 番 18 号
(一財)大阪消防振興協会(内)
TEL (06) 6444-2155

発行人 岡 武男



した。続いて打明局長の乾杯の発声で懇親会が始まりました。参加者の方に親交を深めていただくために昨年と同様、自由席といたしました。その甲斐もあつて会員や賛助会員が入り交じりながら、懐かしい思い出話やお互いの健康状態等の近況について語り合う姿が、会場のあちこちで見受けられました。

宴もたけなわとなつた頃、恒例のビンゴゲームが始まりました。今年も山中副会長のユーモア一杯の司会に、参加者全員が笑いの世界に引き込まれていました。あちこちで、参加者の「リーチ」や「ビンゴー」といったかけ声が飛び交い、デジタルカメラ、ICレコーダー等豪華な景品を手にした当選者は、童心に帰つたような笑顔に戻っていました。

初めて参加された方も、和気藹々の雰囲気楽しく過ごしておられました。楽しかつたひと時は、またたく間に中締め

を迎え、来年の再会と会員各位のご多幸とご健勝を祈念し、盛会裏に懇親会を終えることができました。

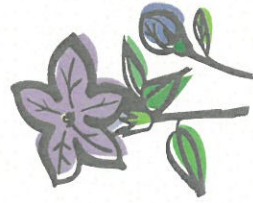
(事務局から)

当日はお忙しい中、総会・懇親会に昨年を上回る多数のご出席をいただきありがとうございました。来年も更に多くの会員の皆様のご参加を心待ちにしております。

当日出席者

会員 178 名

(賛助会員 88 名)



大阪府下 警防技術指導会

警防部 警防課

すでに存在の方もおられると思いますが、平成 25 年度から、大阪府下消防長会の事業として大阪府下全消防本部(局)が参加して、「大阪府下警防技術指導会」が実施されています。

この指導会は、大量退職や火災件数の減少にともなう諸問題に対応するために開催し、警防技術の向上を図るとともに、大阪府下消防本部(局)の連携を強化することを目的に実施しており、消防隊員が技術を競い合う全国初の取組となっています。

各消防本部(局)が、使用する機械や器具の違い、消火戦術の違いについても、「目で見て」、「話を聞く」ことで、参加する各消防本部(局)の隊員間のコミュニケーションが図られ、貴重な情報交換の場としても、活用されています。

訓練想定は、「木造 2 階建て一般住宅の 2 階 1 室 10 m 燃焼中、2 階ベランダに要救助者 1 名ありの火災想定」となっており、消火栓部署した車両からホース延長し、



ベランダに逃げ遅れた要救助者を、応急はしご操法により救出した後、屋内進入し、火勢を制圧する操法内容となっています。

なお、出場隊は、消火隊 1 隊 4 名、出場隊員の要件は、原則として実務経験 3 年以下の職員 1 名以上を出場させることとし、専任救助隊員として任命されている者は除く編成となっております。

また、指導会の最後には、高層建物火災を想定した、府下消防本部(局)合同訓練も実施しており、本部(局)間の連携を確認する内容となっています。

本年度、3 回目となる本指導会は、平成 27 年 11 月 25 日(水) 9 時 00 分から、大阪市高度専門教育訓練センター(旧大阪市消防学校)において、実施されます。大阪市からは、浪速消防署(大阪市の警防技術練成会本年度最優秀隊)が、出場します。後輩職員の勇姿をぜひ現地でご覧下さい。

(文責 中井)



平成26年度歳入歳出決算報告

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

1 歳入金 3,703,147円
2 歳出金 3,632,357円
3 差引残高 70,790円

歳入の部

款 項 目	予 算 額	収 入 額	予算額に比し増△減額	備 考
1 会費	1,901,000	1,702,000	△ 199,000	
1 会費	1,901,000	1,702,000	△ 199,000	
1 定額会費	1,000	0	△ 1,000	
2 終身会費	700,000	700,000	0	70名分
3 総会会費	1,200,000	1,002,000	△ 198,000	167名参加
2 繰入金	114,726	114,726	0	
1 繰入金	114,726	114,726	0	
1 繰入金	114,726	114,726	0	
3 雑収入	1,250,031	1,284,178	34,147	
1 雑収入	1,250,031	1,284,178	34,147	
1 広告料	180,000	179,352	△ 648	5件分
2 寄付金	920,000	970,000	50,000	叙勲者
3 その他の収入	150,031	134,826	△ 15,205	分担金・手数料利息
4 繰越金	602,243	602,243	0	
1 繰越金	602,243	602,243	0	
1 繰越金	602,243	602,243	0	平成25年度より
歳入合計	3,868,000	3,703,147	△ 164,853	

平成27年度清風会役員一覧表

平成27年7月28日現在

役 職	氏 名	役員数
会 長	岡 武男(木津川市)	1
副 会 長	松浦 力(河内長野市) 田村 正英(泉南郡) 山中 優(東住吉区)	3
名誉顧問	國本 篤弘(宝塚市) 新堂 衛(泉南郡)	2
顧問	深澤 修(守口市)南元 秀彌(豊中市)十河 將博(阿倍野区)岡本 吉見(平野区)	8
監 事	池田 勲(奈良市)本城 光一(堺市)森口 清太郎(八尾市)千福 好伸(南河内郡)	8
監 事	村上 勝(御所市)吉谷 弘行(鶴見区) 村田 勉(堺市)	3

支部役員

支部名	常任理事・支部長	理 事		役員数	新会員	27年度 役員数
東	吉本 昭伸(平野区)	山中 優(東住吉区)	西村 葵(生野区)	7	5	132
		本間 茂男(城東区)	中野 雅生(東住吉区)			
		水谷 秀樹(平野区)	木村 壮志郎(鶴見区)			
西	赤松 英司(此花区)			1	1	29
南	鈴木 芳夫(阿倍野区)	松本 憲人(阿倍野区)	池崎 政孝(住之江区)	3	4	77
		家田 治(都島区)	川戸 重次(東淀川区)	4	1	72
北	万木 良章(都島区)	中西 正則(都島区)				
北摂	藤原 肇(箕面市)	中居 徳夫(吹田市)	御本 秀樹(茨木市)	4	1	114
		西田 有作(豊中市)				
北河内	代行 西田賢一郎(寝屋川市)	三宅 靖衛(寝屋川市)	津田 勝康(枚方市)	4	3	118
		越野 信次(枚方市)				
中河内	辻本 貞昌(八尾市)	平田 繁(東大阪市)	吉川 秀司(東大阪市)	3	3	77
南河内	松浦 力(河内長野市)	大北 雅史(河内長野市)	田葉 勇(大阪狭山市)	6	6	251
		保田 明(松原市)	大門 孝至(富田林市)			
		西本 達恭(河内長野市)				
阪南	芳村 京治(堺市)	久保 正敏(和泉市)	萬谷 信幸(泉南郡)	7	11	244
		小林 晶治(貝塚市)	後藤 敏明(堺市)			
		小谷 正範(堺市)	宮越 龍三(堺市)			
		磯田 恭司(北葛城郡)	奥森 喬(宇陀市)			
奈良	笹元 源七(大和郡山市)	藤本 忠行(奈良市)	小林 洋一(大和郡山市)	10	12	221
		杉田 正利(大和高田市)	志賀 幸雄(北葛城郡)			
		村田 正廣(北葛城郡)	中井 健二(奈良市)			
		土谷 秀明(橿原市)				
		永美 雄幸(大津市)	吉岡 利通(木津川市)			
京滋	辰巳 裕一(木津川市)	下別府 未夫(相衆郡)		4	0	57
東日本	橋本 隆雄(名張市)	坂 奨(名張市)	中川 進(名張市)	4	7	99
		中村 教章(橋本市)				
西日本	椿 隆助(神戸市)	萱原 勝治(神戸市)	石山 晃(神戸市)	4	11	169
		生田 輝美(伊丹市)				
13支部	常任理事(支部長)13名	理 事 48名		61名	65名	1660名

歳出の部

款 項 目	(A) 当初予算額	(B) 流用増△減額	(C)=(A)+(B) 予算現額	(D) 支出済額	(C)-(D) 不用額	備 考
1 会議費	1,670,000	△ 68,959	1,601,041	1,430,787	170,254	
1 会議費	1,670,000	△ 68,959	1,601,041	1,430,787	170,254	
1 総会費	1,600,000	△ 68,959	1,531,041	1,415,134	115,907	備品費へ流用
2 理事会費	70,000	0	70,000	15,653	54,347	
2 事務費	980,000	68,959	1,048,959	1,041,135	7,824	
1 需用費	690,000	68,959	758,959	758,959	0	
1 事務委託費	600,000	0	600,000	600,000	0	
2 消耗品費	75,000	△ 73,483	1,517	1,517	0	備品費へ流用
3 備品費	15,000	142,442	157,442	157,442	0	消耗品費・総会費より流用受く
2 通信費	290,000	0	290,000	282,176	7,824	
1 通信費	290,000	0	290,000	282,176	7,824	
3 事業費	1,208,000	0	1,208,000	1,160,435	47,565	
1 連絡費	620,000	0	620,000	597,240	22,760	
1 会報印刷費	120,000	0	120,000	100,440	19,560	
2 会員名簿印刷費	500,000	0	500,000	496,800	3,200	
2 慶弔費	430,000	0	430,000	413,195	16,805	
1 慶弔費	430,000	0	430,000	413,195	16,805	
3 助成費	150,000	0	150,000	150,000	0	
1 支部助成費	120,000	△ 20,000	100,000	100,000	0	クラブ助成費へ流用
2 クラブ助成費	30,000	20,000	50,000	50,000	0	支部助成費より流用受く
4 雑費	8,000	0	8,000	0	8,000	
1 雑費	8,000	0	8,000	0	8,000	
4 予備費	10,000	0	10,000	0	10,000	
1 予備費	10,000	0	10,000	0	10,000	
1 予備費	10,000	0	10,000	0	10,000	
歳出合計	3,868,000	0	3,868,000	3,632,357	235,643	

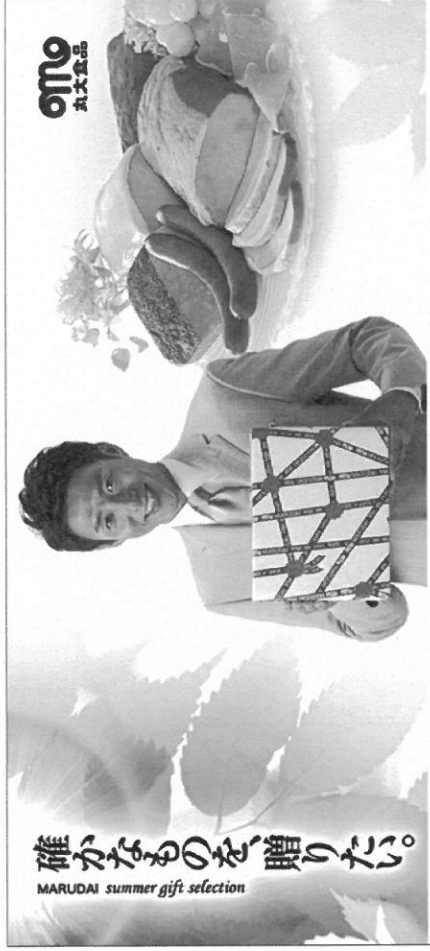
情報誌「とねえ」がリアルタイム
で情報を発信

知ろう 南海トラフ巨大地震
学ぼう 防火・防災のためのこころえ・わざ
備えよう 防災・地震・風水害・テロ事件

一般社団法人 大阪市防火管理協会

〒544-0021
大阪市生野区勝山南4-7-11
TEL (06) 6741-2130 FAX (06) 6712-2130
E-mail info@sonae.or.jp http://www.sonae.or.jp

確かなものを贈りたい。
MARUDAI summer gift selection



2015
モンドセレクション
最高金賞受賞

王 朝

http://www.marudai.jp



贊助會員覽表

消 防 局 長
理 事 兼 防 火 部 長
企 業 予 警 救

樹夫 樹之行
茂純 毅 茂隆秀
明保下井手戸
打久山藤志城

平成27年4月1日現在

大 阪 市 消 防 局																					
総務部	課	副課	課	長	永峰 吉仁	昇	北	消防署	署	副署長（警防）	長	中	高岡 隆也	孝	生野	消防署	署	副署長（警防）	長	一	宮 幸男
総務部	総務課	副課	課	長	藤田 賢二	二	都島	消防署	副署長（警防）	小	鶴 雄司	中	村	勝	旭	消防署	署	副署長（警防）	長	赤	井 孝好
	人事課	副課	課	長	砂田 真吾	男			岡島 愼二郎	郎	之	副署長（警防）	長	山			城 守雄				
	施設課	副課	課	長	小林 豊紀	紀			尾 保誠	誠	松 龍二	二郎	信	福 井 勇							
企画部	企画課	副課	課	長	奥中 忍	忍	福島	消防署	署	岩	谷 俊彦	長	弘	城東	消防署	署	副署長（警防）	長	高	田 勉	
	予防課	副課	課	長	山尾 幸彦	彦			井 畑輝一	一	副署長（警防）	長	和			田 誠一					
		本部監察担当課	副課	課	長	祭原 秀彦			彦	松 倉良	良	友	中 田 巳彦								
予防部	予防課	副課	課	長	川原 弘人	人	此花	消防署	署	芳	森 渡	長	雄	鶴見	消防署	署	副署長（警防）	長	三	宅 正和	
		調査鑑識担当課	副課	課	長	下川 博史			史	阪 口隆則	則	文	誠 俊								
	規制課	副課	課	長	橋本 仁司	司	中央	消防署	署	二	宗 伸介	長	司	阿倍野	消防署	署	副署長（警防）	長	佐	野 文俊	
警防部	警防課	副課	課	長	河合 靖典	典			西	消防署	署	大	浦 隆司			長	司	住之江	消防署	署	副署長（警防）
		保安担当課	副課	課	長	片山 雅義	義	木 南尊			尊	敏	善								
	警防課	副課	課	長	中協 進一	一	港	消防署	署	森	本 雅也	長	也	住吉	消防署	署	副署長（警防）	長	野	尻 哲朗	
警防部	警防課	副課	課	長	辻 楚孝義	義			大正	消防署	署	河	野 浩之			長	之	東住吉	消防署	署	副署長（警防）
		機械器具開発担当課	副課	課	長	三浦 康徹	徹	石 井 孝志			志	春	学								
	警防課	副課	課	長	住田 清英	英	天王寺	消防署	署	浦 田勇治	治	長	治	平野	消防署	署	副署長（警防）	長	川	合 正一	
警防部	警防課	副課	課	長	辻本 裕之	之			浪速	消防署	署	山 口正春	春			淳	西成	消防署	署	副署長（警防）	長
		情報担当課	副課	課	長	居垣 裕之	之	渡 邊			邊	博	利								
	警防課	副課	課	長	辻本 育広	広	天王寺	消防署	署	窪 田宣孝	孝	長	邦	平野	消防署	署	副署長（警防）	長	本	田 孝進	
警防部	警防課	副課	課	長	大滝 康司	司			浪速	消防署	署	石 井 孝志	志			志	西成	消防署	署	副署長（警防）	長
		警備方面副隊長	副課	課	長	藤原 好一	一	細 島津則			則	章	史	都							
	警防課	副課	課	長	津川 京彦	彦	天王寺	消防署	署	徳 田竜彦	彦	長	博	平野	消防署	署	副署長（警防）	長	辻	美 都利	
警防部	警防課	副課	課	長	徳田 竜彦	彦			浪速	消防署	署	永 沼和彦	彦			長	章	西成	消防署	署	副署長（警防）
		指令管制業務担当課	副課	課	長	高島 良彦	彦	長			史	西成	消防署	署	副署長（警防）	長	小			西 一功	
	警防課	副課	課	長	貝本 義明	明	浪速	消防署	署	橋 本宏三	三			長	輝	西成	消防署	署	副署長（警防）	長	植
警防部	警防課	副課	課	長	竹村 健一郎	郎			浪速	消防署	署	異 竹村健一郎	郎	長	人			西成	消防署	署	副署長（警防）
		警備方面副隊長	副課	課	長	高橋 卓司	司	長			哲	西成	消防署	署	副署長（警防）	長	植			松 幸広	
	警防課	副課	課	長	岩本 正剛	剛	西淀川	消防署	署	黒 田美彦	彦			長	博	水上	消防署	署	副署長（警防）	長	鈴
救急部	救急課	副課	課	長	杉田 公伸	伸			西淀川	消防署	署	杉 本 明雄	雄	博	水上			消防署	署	副署長（警防）	長
		救急施設担当課	副課	課	長	大坂 昭一	一	長			彦	水上	消防署	署		副署長（警防）	長		寺	澤 孝	
	救急課	副課	課	長	福井 博司	司	淀川	消防署	署	三 浦敏也	也			已	淀川	消防署	署	副署長（警防）	長	岡	北 裕
高度専門教育訓練センター	消防庁	副課	課	長	林 純人	人			淀川	消防署	署	後 藤知哉	哉	裕			淀川	消防署	署	副署長（警防）	長
		救急施設担当課	副課	課	長	山 野 晃一	一	長			史	淀川	消防署	署	副署長（警防）	長			松	前 篤志	
	消防課	副課	課	長	前田 達也	也	東淀川	消防署	署	前 田 達也	也			信 介	東淀川	消防署	署	副署長（警防）	長	鈴	木 三千紀
出向・派遣	府立消防学校	副課	課	長	北口 正雄	雄			東淀川	消防署	署	北 口 正雄	雄	治			東淀川	消防署	署	副署長（警防）	長
		府危機管理室	副課	課	長	出水 静雄	雄	場 芳生			生	東淀川	消防署	署	副署長（警防）	長			寺	澤 孝	
	市危機管理室	副課	課	長	橋口 博之	之	岩 崎 己満	己 満	東淀川	消防署	署			副署長（警防）	長	松	前 篤志				
松原市消防本部	副課	課	長	北野 光浩	浩	澤 田 英則	英 則	東淀川			消防署	署	副署長（警防）	長	松	前 篤志					

— 賛助会員とは —

会則に基づき、大阪市消防職員で司令長以上の者、その他本会の趣旨に賛同する者で、清風会の発展を支援する会員です。



奈良支部総会・懇親会開催

平成27年度の奈良支部総会が、5月17日(日)12時から3時間、にわたり奈良市内の「ホテルジタ奈良」にて行われました。

当日の参加者は、役員会10名、総会には29名の会員が参加されました。総会は物故会員に対する黙祷にはじまり、高垣支部長の挨拶

及び消防の主な動きについて説明の後、議案審議が行われました。予定された議案は満場一致で全て議了され、役員改選では、支部長に笹元源七氏が、新役員として土谷秀明氏が理事に選任されました。続いて行われた懇親会では、原田顧問の乾杯で始まりお互いの近況や健康を称えあいながら、「長生きの秘訣・趣味」など、の話題が尽きることなく楽しいひとときを過ごしました。来年度の総会は、28日(土)に開催予定です。奮ってご参加をお待ちしています。(中井)



阪南支部総会開催

猛暑が続くなか、7月28日に阪南支部の総会が岸和田五風

荘で開催され27人の支部員が集いました。報告事項、新入会

員や叙勲受章者の紹介などの総会の部も、そこそくに懇親会の部に順調に移りました。各人近況報告や昔話などに花が咲き、宴もたけなわになった頃、突然、大山支部長から支部長辞任の表明がありました。事前の打ち合わせは全くなく、後任選びが余興そのものになってワイワイ、ガヤガヤ。爆笑のうちに何とか後任支部長と新しく2名の理事が決って、開きとなりました。大山支部長、長い間、ご苦労様でした。新体制の下、理事一同、支部員の親睦に資するよう努めてまいります。で、今後ともよろしく願いたします。

第4回テニス大会を開催！

『清風会テニス同好会』 平成27年5月20日(水) 富田林市 滝谷テニスクラブ



◎テニス大会結果
優勝 原田勝正氏
準優勝 東田善忠氏
三位 田島正廣氏

◎テニス大会終了後、総会兼懇親会も開催、延22名の参加をいただき、テニス談義で盛り上がりました

参加者募集中です(お一人でも参加可)。皆でテニスを楽しみましょう！

◎参加を希望される方は北支部大久保までご一報ください。

携帯電話：090-8793-2741 ■メール：akitan - 1141 - des@docomo.ne.jp

『清風会ゴルフ同好会』 第23回ゴルフコンペを開催しました

平成27年5月29日(金) 聖丘カントリー倶楽部 《参加31名》

上位入賞者・各賞受賞者(敬称略)		ドラゴン賞	
優勝	勝 清	川端末吉	大久保晃
グロス86.ネット71.6		榎野隆一	保田 明
準優勝	榎野 隆一	ニアピン賞	
3 位	山口 剛	米澤二郎	滝本弘美
ベストグロ賞	松浦 力	山口 剛	藤本正利
		角園 一男	藤本正利
		山口 剛	藤本正利



皆様お気軽にご参加ください。ゴルフを楽しみましょう！
◎参加を希望される方は北支部大久保までご一報ください。

携帯電話：090-8793-2741 ■メール：akitan - 1141 - des@docomo.ne.jp

支部だより

東支部総会・懇親会・親睦散歩開催

平成26年度の東支部総会が、10月17日(金)中央区の「ヴィアール大阪」において開催された。当日の参加者は、前回1回目に比べて若干減少しまして21名でした。それでも賛同会員の約3割の出席者です。総会は、物故会員の方々に対して黙祷から始まり、吉本支部長の挨拶の後、前年度の事業報告・決

算報告及び次年度の事業計画・予算案の審議に移り、全員異議なしの声で承認されました。続いて懇親会が行われ、乾杯の発声をきっかけに、お互いの健康をたたえあい、酒を酌み交わし楽しいひとときを過ごしました。宴の終盤本日参加者最年長の大谷栄雄さん(86歳、昭和57年平野消防署定年)より、長生きで



元気な秘訣のお話をいただき、御開きとなりました。東支部親睦散歩(軽く汗かく程度の散歩後、親睦会)を平成27年5月31日

(日)実施しました。コースは、来年の大河ドラマ「真田幸村ゆかりの真田山公園」近辺を散歩後、親睦会を玉造「すし半」で行いました。

南河内支部総会開催

1 総会

5月30日(土)午前11時から、平成27年度南河内支部総会を昨年に引き続き長野公園そばの「河内長野荘」において会員35名の出席を得て開催されました。

総会は、物故会員の御霊への黙祷から始まり、松浦支部長のあいさつの後、議案審議に入りました。

平成26年度の事業報告、決算報告に続き、役員の一部改選があり、新理事に尾崎、津田の両氏が選出されました。

報告事項において、

平成26年秋と平成27年春の叙勲受章者計7名に記念品の授与と新会員4名の紹介がありました。

続いて平成27年度事業計画案及び歳入歳出予算案が審議され全ての議案は全会一致で承認されました。

また、恒例の親睦会の開催時期が旅行会は9月淡路島方面ゴルフ会は6月と11月に実施するとの発表がありました。

2 懇親会

総会に続いて懇親会に移りました。

来賓には中部地区消防本部代表のご出

席を賜り、松原市消防本部、北野消防長の御祝辞をいただいたあと、中田顧問の乾杯音頭から宴となり、みなさん懐かしい顔、顔で、料理をつつきながら、酒を酌み交わし、現職時代の話や近況報告等、花が咲く人あり、カラオケで自慢ののどを披露する人ありと和気あいの雰囲気の中で、2時間があつという間に過ぎ



盛會裏にお開きとなりました。(門林)

大阪消防登山クラブOB会「新雪会」が11年を迎えました



平成26年8月8日、ホテルニューオータニでの発足を経て、大阪消防登山クラブOB会「新雪会」は満1年を迎えることが出来ました。

会員は元現役の登山クラブ員でしたが、登山は誰にでも楽しめる身近なスポーツです。

この1年の事業としては、発足をはじめ年末の大阪市内での懇親会、2月積雪時の冬山一泊「鴨鍋」ハイキング、また現職登山クラブの月例ハイクの参加及び現職クラブ員の退職送別会へも参加・協賛させております。

今夏は、「立山と富山湾の味覚」と題して、現在懸案中です。「山思えば人恋し、人思えば山恋し。」是非、新雪会の扉を叩いて下さい。

問い合わせ 新雪会事務局 080-5338-9267 香月

叙勲受章者

平成 26 年 秋 の 叙 勲

おめでとうございます。
秋の叙勲受章者として、
次の方がその栄誉に輝きました。



◎瑞宝小綬章
中川 功 (70 歳)

おめでとうございます。
第 23 回危険業務従事者叙勲受章者として、
次の方々がその栄誉に輝きました。



◎瑞宝双光章
山口 光夫 (63 歳)



◎瑞宝単光章
武部 義博 (66 歳)



◎瑞宝双光章
河原 克己 (66 歳)



◎瑞宝単光章
栗野 壮一 (66 歳)



◎瑞宝双光章
赤松 英司 (66 歳)



◎瑞宝双光章
村田 正廣 (66 歳)



◎瑞宝単光章
峰谷 保幸 (66 歳)



◎瑞宝単光章
名合 正明 (66 歳)



◎瑞宝双光章
美馬 達美 (66 歳)



◎瑞宝単光章
乾 泰昌 (71 歳)



◎瑞宝単光章
杉田 正利 (71 歳)



◎瑞宝単光章
永敷 祥次郎 (71 歳)



◎瑞宝単光章
山元 義久 (71 歳)



◎瑞宝単光章
下浦 正勝 (71 歳)



◎瑞宝単光章
奥城 久壽 (70 歳)



◎瑞宝単光章
黒田 隆彦 (70 歳)



◎瑞宝単光章
佐伯 光彦 (70 歳)



◎瑞宝単光章
久井 孝彦 (70 歳)



◎瑞宝単光章
壇野 隆一 (70 歳)



◎瑞宝単光章
田中 正治 (70 歳)



◎瑞宝単光章
笠井 俊雄 (70 歳)



◎瑞宝単光章
岡田 壽夫 (70 歳)



◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章

平成 27 年 春 の 叙 勲

おめでとうございます。
春の叙勲受章者として、次の方がその栄誉に輝きました。



◎瑞宝小綬章
大北 雅史 (70 歳)



◎瑞宝小綬章
高垣 新平 (70 歳)

おめでとうございます。
第 24 回危険業務従事者叙勲受章者として、
次の方々がその栄誉に輝きました。



◎瑞宝双光章
石井 孝義 (63 歳)



◎瑞宝双光章
松本 悟 (64 歳)



◎瑞宝双光章
森脇 重治 (66 歳)



◎瑞宝双光章
山上 良次 (66 歳)



◎瑞宝単光章
大本 清司 (66 歳)



◎瑞宝単光章
西田 曉 (66 歳)



◎瑞宝単光章
名越 久 (66 歳)



◎瑞宝単光章
今西 勲 (70 歳)



◎瑞宝単光章
菊池 與三郎 (70 歳)



◎瑞宝単光章
中辻 良通 (70 歳)



◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章
松田 豊司 (66 歳)



◎瑞宝単光章
西本 達恭 (66 歳)



◎瑞宝単光章
芳賀 優輝 (71 歳)



◎瑞宝単光章
中尾 又平 (71 歳)



◎瑞宝単光章
廣田 重政 (71 歳)



◎瑞宝単光章
内藤 善樹 (71 歳)



◎瑞宝単光章
阪口 正幸 (70 歳)



◎瑞宝単光章
西村 幸男 (70 歳)



◎瑞宝単光章
中野 和義 (70 歳)



◎瑞宝単光章
今西 勲 (70 歳)



◎瑞宝単光章
菊池 與三郎 (70 歳)



◎瑞宝単光章
中辻 良通 (70 歳)



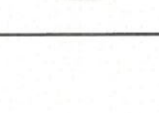
◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章



◎瑞宝単光章

ご 寄 付

次の方々よりご寄付を賜りました。
厚くお礼を申し上げますとともに
ご報告いたします。

中川 功 様 10,000 円
山口 光夫 様 10,000 円
武部 義博 様 10,000 円
河原 克己 様 10,000 円
栗野 庄一 様 10,000 円
赤松 英司 様 10,000 円
村田 正廣 様 10,000 円
峰谷 保幸 様 10,000 円
名合 正明 様 10,000 円
美馬 達美 様 10,000 円
乾 泰昌 様 10,000 円
杉田 正利 様 10,000 円
永敷 祥次郎 様 10,000 円
山元 義久 様 10,000 円
下浦 正勝 様 10,000 円
奥城 久壽 様 10,000 円
黒田 隆彦 様 10,000 円
佐伯 光彦 様 10,000 円
久井 孝彦 様 10,000 円
壇野 隆一 様 10,000 円
田中 正治 様 10,000 円
笠井 俊雄 様 10,000 円
岡田 壽夫 様 10,000 円

大北 雅史 様 10,000 円
高垣 新平 様 10,000 円
石井 孝義 様 10,000 円
松本 悟 様 10,000 円
森脇 重治 様 10,000 円
山上 良次 様 10,000 円
大田 清司 様 10,000 円
西田 達 様 10,000 円
名越 久 様 10,000 円
中尾 又平 様 10,000 円
松田 豊司 様 10,000 円
西村 幸男 様 10,000 円
中野 和義 様 10,000 円
今西 勲 様 10,000 円
菊池 與三郎 様 10,000 円
中辻 良通 様 10,000 円



IFCAA 2016
OSAKA

IFCAA 2016 OSAKA

平成28年6月、大阪市南港地区において
「IFCAA 2016 OSAKA」が開催されます。

【開催概要】

IFCAA 2016 OSAKAとは、「アジア消防長協会総会」「全国消防長会総会」などの国際・国内会議のほか、「国際消防防災展」「国際救助隊合同訓練」「市民参加型イベント」等を同時に開催する大規模なコンベンションの名称です。大阪市では、『大阪万博』が行われた昭和45年以来、実に46年振り2回目の開催となります。

【開催期間】

平成28年6月8日(水)～11日(土)

【開催内容】

- 第29回アジア消防長協会総会／第68回全国消防長会総会(8～10日)
- IFCAA 2016 大阪国際消防防災展《10～11日》入場無料
- IFCAA 2016 消防防災・国際救助隊合同訓練《10日》一般公開 無料
- 市民参加型イベント《10～11日》参加無料

【開催場所】

- 総会等会議 ハイアットリージェンシー 大阪 《大阪市住之江区南港北1-13-11》
- 防災展／訓練等 アジア太平洋トレードセンター 《大阪市住之江区南港北2-1-10》

【開催テーマ】

「未来へ繋げるアジアの消防
～ Fire Service in Asia for Future Generation ～」
【専用ホームページURL】
<http://www.ifcaa2016osaka.com/>



IFCAA 2016 OSAKA
ホームページQRコード



いざという時のために



その他各種
損害保険全般

一般財団法人 全国消防協会 職員福利厚生事業
団体割引30%、損害率による割引10%等適用
約40%

消防退職者医療保険

団体総合生活保険(医療補償)



こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引当保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

お問い合わせせは ☎ 0120-065-988 (平日9:00～17:00)

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社 一般財団法人 全国消防協会 損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

<引当保険会社> 東京海上日動火災保険株式会社

14-T-13645(2015年4月作成)

朝日火災のスーパージャンプ(積立型火災保険)

- ◎お住まいを多くの災害から補償
- ◎満期返れい金プラス配当金のお楽しみ
- ◎(個人契約の場合)満期時お受取金は一時所得扱い

☆課税対象額＝(満期返れい金＋契約者配当金

－払込保険料の総額

＋他の一時所得対象額

－特別控除50万円)×1/2

(平成27年7月現在の
税法上のお取扱)

(お問い合わせ先)朝日火災海上保険株式会社

c27-236 ◇モデルケースの掛け金とご契約金額◇ 専用住宅

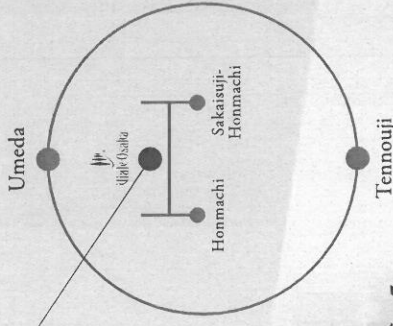
保険 期間	構造	ご契約の一例		掛け金 (一時払)	満期返れい金
		建物			
6 年	JH(木造)	1,500万円		4,499,850円	4,500,000円+契約者配当金
	JT(耐火)	1,500万円		4,492,200円	4,500,000円+契約者配当金

(注1)契約者配当金は、剰余が生じたときにお受け取りいただくものであり、ゼロの場合もあります。
(注2)木造住宅の場合には、耐火建築物・省令準耐火建築物・準耐火建築物に該当する建物を除きます。

大阪支店 〒541-8508 大阪府大阪市中央区本町3-4-10 電話(06)6265-2811(直通)

大阪の真ん中、本町に集う。

ヴィアール大阪は、ご宴会・パーティーの基点にふさわしい好立地に加え、和洋スタイルに合わせ、お料理はもちろん各種宴会場をご用意しております。



ご宴会
Party

ヴィアール大阪
TEL.06-4705-2411(代)
www.viale-osaka.com

地下鉄御堂筋線「本町」駅1号出口より東へ徒歩3分
地下鉄御堂筋線「増穂本町」駅17号出口より西へ徒歩5分

蛸の頃

年ふりて指折り幸を 求むる事
忘れてしもうて以来
季節を移ろう 木枯が
礎に挨拶もなく
余所行きの ツンと澄ました横顔で
ビョー・ビョーンと唸りを上げ
僕の足許を渦巻いて 通り過ぎて行く

都会の雑踏の荒波に
浮き沈みしていると
突然 眼前には々とした
美しい青空が展開する時がある
軋に揺られ
雲ツない群青の空に見とれていると
何時となく
僕の視覚が痺れ ビルが 車が消え
僕の身体からは 背広 スボンが流れ去り
背な押す風に 浮き足立ち
後生大事な軀も飛び去り《常住なる幸福》を
希求する 赤手空拳の旅人となる
されど
いかに旅を続けても《常住なる幸福》なんて
追っ掛け引っ掛けても
手の届かぬ 山の彼方の空遠く
「入さしくも タまぐれ…」
そんな 旅の途次
ふと幼少期の 遥かな遠い記憶の森に
迷い込むことがある
そして いつの間にか
なつかしい幼友の声 温もりのなかを漂ってい
る
だが そこには
多感な日々を過ごした 朋友は誰もいない
不思議な瞑想郷なのだ

ある夏の午後
行き交う人は誰も知らない そんな寂れた村の
とある 人影なき公園のベンチで
ふと まどろんでしまった
小半時がすぎ
全身に電撃ショックを浴びたような
衝撃が走り 跳ね起きた
頭上の樹木から 申し合わせたように
能蟬達が斉に わめきたし
それは
烈火の如く狂おしい 強靱な祈事の瞬間だっ
たのか
今までに経験のない出来事で
残り僅かな命の 精一杯の雄叫びだったろう…
木肌も見えぬ程
枝先にまで見事に 蟬達がへばり付き

池崎 政孝(平成12年3月退職)
なぜ あの樹木にだけ蟬が集会したのか分か
らない
不思議な日だった
蟬のあの身体に似合わぬ
大きな声は
腹部全体が 共鳴室となつて
音が増幅されるためだ
雌を呼び寄せようと
必死で鳴く声は 何か切ない
そうだー
幼き頃 蟬や蜘蛛の囲いに捕えられた
蟬を発見すると
たまらなくなり 我を忘れて救出した
ぐるぐると巻かれたスベスベの
蜘蛛の糸をはずし
大空へ放してやると
歓喜の一声をあげ 飛去った…
蟬は幼虫 成虫とも樹液を吸い
幼虫は数年間(1〜7年) 地中
で過ごす
地上にて成虫となり 数日でその
生涯を終える
また
北アメリカに 卵から成虫になる
まで
17年ものかかる 17年周期蟬もい
るという
更に
マレー半島には 帝王ゼミという
世界最大(体長7センチ開張20セ
ンチ)の蟬で
鳴き声は 食用蛙(牛蛙)に似
た蟬もいるとか
さまざまな鳴き声は 樹上の
至高の饗宴で
夏の風物詩の粋である
芭蕉は《奥の細道》の山寺で
「ニニニ蟬の(チー ナー…)と鳴く声に
深く感動し
「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」と詠だ
という
夜なのに真昼のように 蟬が鳴いている
夜の蟬時雨は
僕の心を激しく揺さぶり叱咤する
きつと
この怠慢ぶりを 熟知しているのだろう
だが
すぐ近くでは 秋の蟬が鳴き始め

～想い出の詩～

盛りを過ぎた 名残りの声が
僕の胸の中に 静かな運を立てていく
それは 辞世を惜しむ
蟬の声であろう
四十余年も前のことで
普段は 全く忘れていたのに
「カナカナ カナカナ…」と高く美しい
蟬の声を聞くと
自然に幼友N君のことを思い出す
あれから 僕にも
いろいろな夏が過ぎ
生家のまわりも様変わりしたが
僕の中のN君は
あの楽しかった
還暦同窓会以来
ずっと
神様に連れて行かれたままなのである

蟬よ何処へ…
暗い地中の穴から這い出た幼虫が
何としたことだろう
赤褐色に塗布舗装された
カラニ道路に
レンガ色の歩道に
進行を司る触角 大きな目 口器等が
判断ミスをするのだろうか
そつと 見守っていると
柔らかな土質と
土色ペーメントの区別がつかず?
樹木から だんだんと 離れて行く…
そんな光景に出会うと
慌てて近くの枝に 這わせてやる
また
生命が見事に抜けた 空蟬を
発見すると ホッ! とするのだ
地中で何年も過ごし
満を持して地上に出たのだ
すぐに安心な場所に
辿り着き羽化してはしい
さ迷える幼虫の
その
精根傾けた努力の行方が悲しいのだ――
だが
短い蟬の生涯でも
必ず
美しい瞬間がある…
目出度く羽化に成功し
やがて
雄は 金切り声をあげ雌を奪い合う
哀しい生命励みだ――
万
静かな雌は その子孫を残すため
短い命を懸命に燃焼する

だけど
十分その 使命を果たせたらうか?
つい さつきまでは 上空から地上を
見下ろしていたものを…
今 突然
地上に落下し
仰向けに手足を摺り合わせ
まるで
お坊さんが寝転んでお題目を
唱えているみたいに合掌している
上空から老婆を 見下ろす世界と
奈落へ落ちて上空を 見上げる世界と
この蟬達は 天空を見つめ
何を思い
また何を願つて 合掌しているのだろう…
そつと 指先を差し出すと
しっかりと掴まる姿は どうか悲しみの気
配を宿し
グッと余情が伝わってくる
そんな時は
たまらなくなり 樹木の根方へ
密やかに ほんとにそつと
安置してやる
僕にできる 最大の仕草なのだ
小さきもの 儚きものへの慈愛を
決して忘れまい――
先祖代々に亘つて 親とも子孫とも
決して出会う事のない
そんな
運のない運命の昆虫類とはいえ
合掌の蟬を見るたび
僕は
「もういい…」というまで決して眠るな
よ」と
「入 私語を発し
祈らずにはおられない
そうして
ドラマチックで悔いのない生涯だったと
心からそう称えたい!!
木に留まる 力もあらぬ 能蟬が
わが合掌に小さく 一声なきぬ
そんな季節は 喪失感と寂しさが
波のように
寄せては返す 日々となる
やがて
初夏から中秋への ほんの少しの間に
古里の檜や杉の林では
まるで異界からの 使者の如く
夜明け前 更に黄昏時を好み

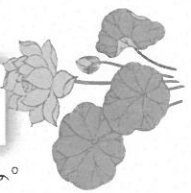
黙 禱 (平成26年度)

次の方々がご逝去されました。ご冥福をお祈り申しあげます。

森田 保 殿(不 詳)	平成26年4月9日 没
石井 勇 殿(享年87歳)	平成26年4月12日 没
田中 賢治 殿(享年70歳)	平成26年5月2日 没
古東 永男 殿(享年84歳)	平成26年5月7日 没
鳥井 康秀 殿(享年94歳)	平成26年5月17日 没
南浦 博美 殿(享年88歳)	平成26年6月7日 没
高垣 貞夫 殿(享年86歳)	平成26年6月28日 没
山本 正博 殿(享年67歳)	平成26年7月20日 没
巽 芳樹 殿(享年73歳)	平成26年7月22日 没
内田 安雄 殿(享年85歳)	平成26年7月30日 没
竹原 康男 殿(享年89歳)	平成26年8月6日 没
武曾 保 殿(享年89歳)	平成26年8月6日 没
國貞 拳吉 殿(享年89歳)	平成26年8月19日 没
井川 実 殿(享年86歳)	平成26年8月25日 没
曾根 清 殿(享年75歳)	平成26年9月1日 没
藤井 義勝 殿(享年73歳)	平成26年9月12日 没
高木 重雄 殿(享年88歳)	平成26年9月13日 没
上原 勇 殿(享年95歳)	平成26年9月25日 没
大森 昭次 殿(享年89歳)	平成26年9月26日 没
廣田 隆 殿(享年72歳)	平成26年9月29日 没

蟬の季節の終わりは
世の波瀾をよそに
いつ いっただて静かだ――

※報載：ブラコ
※赤手空拳：何も頼るものがない
※さしくむ：涙ぐむ
※タまぐれ：タぐれ
※小半時：30分
※饗宴：もてなしさかまり
※叱咤：大声をあげてしめる(激励する)
※山寺：山形市の立石寺(りしやくじ)
※ペーメント：舗道
※私語：小声で密やかにする話



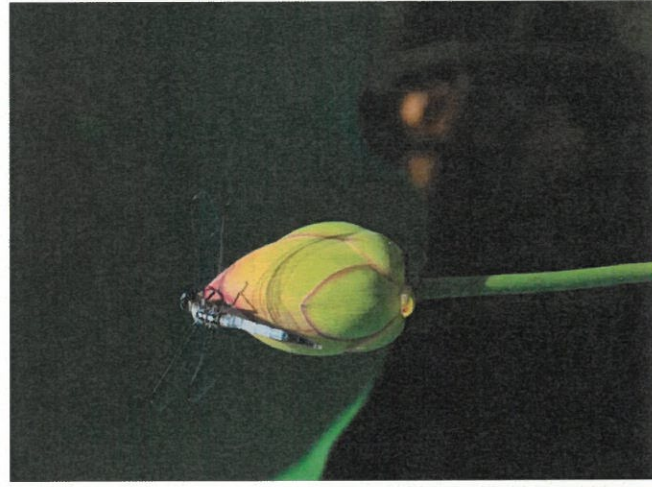
壇 重利 殿(享年74歳)	平成26年10月 没
福田 裕一 殿(享年79歳)	平成26年10月7日 没
竿下 巖 殿(享年74歳)	平成26年10月7日 没
肥後 雲亮 殿(不 詳)	平成26年10月11日 没
北野 義雄 殿(享年87歳)	平成26年10月15日 没
芝野 義之 殿(享年82歳)	平成26年11月5日 没
阪本 正年 殿(享年68歳)	平成26年12月12日 没
山口 種義 殿(享年90歳)	平成26年12月17日 没
高橋 勲 殿(享年73歳)	平成26年12月20日 没
松下 敏彦 殿(享年75歳)	平成27年1月18日 没
伊藤 忠夫 殿(享年77歳)	平成27年2月16日 没
藤高 優光 殿(享年72歳)	平成27年2月26日 没
鈴木 典雄 殿(不 詳)	平成27年3月4日 没
山田千鶴子 殿(不 詳)	平成27年3月6日 没
早川 文一 殿(不 詳)	平成27年3月14日 没

【お願い】
万一、会員様に不幸が生じましたら
お手数ですが、清風会事務局まで
ご一報下さい。
申電等を手配させていただきます。
TEL 06-6444-1215

清風会写真同好会 「ひまわり会」



「間欠泉上のマリア」 安東 清忠



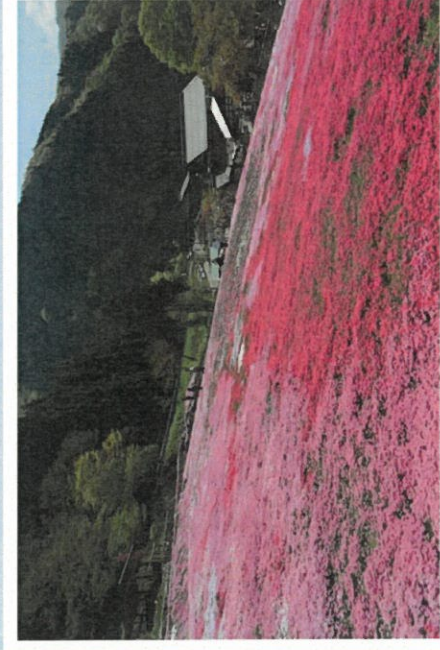
「静止」 塚由 克巳



「ドクターイエロー」 森本 寛治



「それぞれの春」 兵頭 義雄



「奥美濃の春」 池田 秀範



「ひとやすみ」 松井 昭



「花火の共演」 平田 公宏



「藤棚」 田中 勇三



「大原さん」 鈴木 芳夫

秋の撮影会のご案内

平成27年11月28日(土)～29日(日)に、松江市「六道湖」方面においてクラブ撮影会を開催します。

当クラブの年間活動としては、春と秋2回の撮影会及び作品展(中央区役所・あべの学習センター)、テーマに基づく写真コンテスト、随時開催するプチ撮影会などを実施しています。

写真に興味のある方、いまから始めようと思っている方・・・お気軽にご参加ください。

部長 鈴木芳夫(南支部)

「事務局」 中央消防署 管理担当 名小路谷(阪南支部) 携帯 090-8146-9343

メール nakoyan119@gmail.com